

年度:2019年 LOM番号:0726
【褒賞申請書】

事業名称	鹿角！冬フリマ！
カテゴリー	LOM地域社会向上プログラム部門

申請LOM	東北地区 秋田ブロック 一般社団法人鹿角青年会議所
LOMの人数	29名
理事長名	森谷 敦史
担当者名	大里 恒博(専務理事)
担当者携帯番号	TEL 090-3121-6442 担当者E-Mail tnhr731@gmail.com
事務局住所	秋田県鹿角市花輪字合野236-1
事務局TEL	TEL 0186-22-2022 FAX 0186-23-7753

本事業の参加者	会員数	29名
	関係者数	0名
	一般参加者数	564名
事業実施に至る背景 400文字程度	冬の寒さ厳しい東北地区の中でも鹿角市は降雪量が多く、日照時間も少ないため防寒対策が欠かせず、さらに冬季は住民同士で交流する機会が夏季に比べて少ないのが現状です。そして、住宅内は生活空間が限られており、古くなったコートやこたつ、ブーツなどは収納スペースを圧迫しがちです。そこで、鹿角市・小坂町の冬季の現状を少しでも明るいものにする必要があると考え、事業実施に至りました。	
事業目的 400文字程度	冬季に幅広い世代の住民に対し、古くなった物を見直し再活用する機会を提供し売買を通じて楽しく交流を重ねることで、冬季でも活気溢れる鹿角を実現し、地域の活性化につなげていきます。	
SDG'sの該当項目	(SDG'sの該当項目を記載) 12. 8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる。	

<p>事業概要</p> <p>400文字程度</p>	<p>鹿角市内施設「コモッセ」の講堂と研修室を使用し、鹿角市民と小坂町民からの一般参加ブース56コマと、鹿角JCメンバーブース4コマを用意し、各自の持ち寄りの商品を好きな値段で売買するフリーマーケットを行いました。当日JCメンバーはスタッフとして受付から記録、ブース案内や着ぐるみを着ての小さい子への対応、駐車誘導等と総動員し、出展者や来場客への対応を行いました。出展内容は主に古着や使わなくなったおもちゃなどの売買が殆どを占め、メンバーブースでは各自の会社の取扱商品や、資格所持者によるマッサージを行い、当日を盛り上げることに成功しました。</p>
<p>開催期間・ タイムスケジュール</p>	<p>2018年3月18日(日)</p> <p>8:30 全メンバー集合</p> <p>8:35 開会セレモニー</p> <p>8:36 開会宣言 副理事長</p> <p>8:37 国家並びに JC ソング斉唱、JCI クリード唱和、JCI ミッション・JCI ビジョン唱和 JC 宣言文朗読並びに綱領唱和、東北 JC 宣言文唱和</p> <p>8:38 理事長挨拶</p> <p>8:41 専務理事報告</p> <p>8:50 のぼり設置</p> <p>9:00 受付開始</p> <p>10:00 フリマスタート</p> <p>15:30 フリマ終了。出店者片付け開始</p> <p>16:00 出店者片付け終了</p> <p>16:05 集合写真の為に出店者、JC メンバー全員集合</p> <p>16:10 委員長 挨拶</p> <p>16:15 集合写真撮影</p> <p>16:20 会場片付け開始</p> <p>16:30 会場片付け終了</p> <p>16:32 閉会セレモニー</p> <p>16:33 監事講評</p> <p>16:47 閉会宣言 副理事長</p> <p>16:50 会場完全撤収</p>
<p>開催場所</p>	<p>文化の杜コモッセ 講堂及び研修室 〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字八正寺13</p>
<p>事業区分</p>	<p>新規</p>
<p>公益・共益区分</p>	<p>公益事業</p>
<p>事業総予算・収支</p>	<p>予算計: ¥121,640-</p>

	支出計: ¥101,200-
協力団体	共催 無し
	協賛 無し
	後援 無し
	その他 無し
事業対象者	鹿角市民・小坂町民
行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度	<p>① 議案作成段階で、鹿角市・小坂町にて冬にフリーマーケットは行われていないことを確認。</p> <p>② 審議通過後に北鹿新聞に折り込みチラシ依頼、フリーペーパー、鹿角市広報、インターネットによる告知を行い、出店希望者を募ると同時に来場者を集める。</p> <p>③ 口コミによる例会案内の際に情報を集め、駐車場の整理要員の配置や、当日着ぐるみを来て盛り上げるメンバーの配置などを行い、前日にはブースの区分けなどを行い万端の準備をする。</p>
結果 (RESULT)	<p>① 出店想定は60ブースを予定していたが、28ブースの利用にとどまった。</p> <p>② 一般来場者は多めに600人を予定していたが、予定より少ないブース利用にも関わらず564名の来場があった。</p> <p>③ 出品物がどのブースも売り切れないしそれに近い結果となった。</p>
地域社会への影響 400文字程度	鹿角JCの認知度を飛躍的に高める素晴らしい例会であり、終了後1年以上経過した今も引き続きフリーマーケットをまた開催して欲しいという要望が各所からあった。現在も事務局やメンバーのところにまた開催してほしいという要望が絶えず、その他の例会のPRにも役立っている。
LOMへの影響 400文字程度	市民に期待される事業とは何かと常に考え続ける姿勢を身に着けることが出来た。単年度制であるがゆえにその年々でJCのカラーは変わるが、市民の役に立つ事業を企画・実行していくことで自らの存在価値を高め、広い意味でマーケティングやコンプライアンスに関するなど一企業人として欠かせないスキルを身に着けるきっかけとなった。
事業の長期的な影響 400文字程度	鹿角JCとしては例のないくらいの一般来場者を迎えることが出来た事に加え、家庭を持つ若い世代にPRできたことにより、JCへの理解や新規会員へのアプローチがこれまでよりも楽になった。「フリマやったりしてるよ。」と気軽にPRすることが出来た為、通年目標としている女性会員の獲得にも

	<p>大きな武器となり、JCのお堅いイメージを覆すことが出来た。</p>
<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>今までにないものを考察し、実行していくことはLOMの新たなエネルギー源となり、例会もさることながら常日頃感じている改善点や慣例を見直し、LOMの新陳代謝を図ることが出来た。これにより、LOMの更なる飛躍が期待できることとなった。</p>
<p>改善点</p>	<p>他地域からの出店依頼もあったが、今回は鹿角市・小坂町からの出店に限定していたため、南部州デザイン会議の繋がりも活用して門戸を開いていく必要があったと感じた。また、午後には来場者があらかた引いていたため、2部制でイベントを設けるなどの工夫も必要であった。</p>
<p>JCI活動計画の推進 JCI VISION活動計画の推進 JCI MISSION活動計画の推進</p>	<p>変革という名にふさわしい事業であり、視野の広がる素晴らしい事業であった。また、市民とのつながりも増し、よりよい関係づくりにつながった。</p>
<p>添付資料</p> <p>PDF資料2MB、5ページ以内</p>	

鹿角の冬は、まだまだ楽しい

<鹿角！冬フリマ！>

一般社団法人鹿角青年会議所は2018年3月18日日曜日に「<鹿角冬フリマ！>」を<秋田県鹿角市花輪、文化の杜コモッセ>にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この<鹿角！フリマ！>は<地域経済と地域交流の好循環>を目的として開催されました。<鹿角JCはじまって以来の一般参加600名>という結果、目的を達成する事ができました。

<鹿角！冬フリマ！>とは？

詳細な事業内容

期日：2019年3月18日（日）9：00～16：30

会場：文化の杜 コモッセ

鹿角市内・小坂町内から企業・個人問わず出店希望者を60ブース用意し、来場者と直接売買を行っていただきました。出店にあたっては規約を用意し、納得頂いた方のみ参加して頂きました。

ブースはメンバーも出店し、鹿角JCのPRもかねて積極的に参加者と交流を重ね、更には着ぐるみなどを用意することで参加した子供達にも楽しんで頂くことが出来ました。最後には売上金額のアンケートを集計し、出店者と記念写真を撮って終了となりました。今回の事業を通して普段あまり接することの無い方と交流が持てたことと、フリマという形で行った例会のおかげで鹿角JCの認知度も飛躍的に高まり、市民から次はこんなことをやってほしいといった要望や、フリマを継続してほしいという意見を多数いただき、今度の活動において非常に有益な事業として終了することができました。



写真1



写真2



写真2